

いい季節ですね☆  
読書の秋・食欲の秋など秋には魅力的な表現がたくさんありますが、  
皆様の秋はどんな秋でしょうか。例えば…この学園便りを読み読み、  
くーペの秋限定パンをパクリ…と過ごす秋なんていかがでしょう!?



# いたはし学園便り

## 2019.秋の訪れ号

令和元年10月1日発行

### 夏のお楽しみ★日帰りレクリエーションに行ってきました!!

京都コースの日帰りレクを7月18日(木)と8月17日(土)で実施しました。  
今回の行き先は「京都市市民防災センター」と「おたべ体験道場」です。



午前中は京都市市民防災センターで防災体験プログラムに参加しました。去年は大きな地震や台風があり、災害への備えが一層大切だと感じています。防災センターでは様々な体験プログラムを通して、災害について学ぶことができました。浸水して水圧のかかった扉が重くて開けるのに苦戦したり、強風体験の風の強さや地震体験の揺れに驚いたりしながらも、皆さんそれぞれのペースで体験しておられました。



お昼ごはんは焼肉倶楽部いちばんに行き自分たちでお肉を焼いて食べました。自分でお肉を焼いて食べるということをしたことがあまりない、という方もおられたので、良い経験になったかと思えます。あらかじめ選んでいたデザートもおいしく、ドリンクバーやスープバーに何度も行かれたりとおなかいっぱい&満足な様子でした。



午後はおたべ体験道場で「おたべ」作り体験をしました。工場見学をしたり、司会進行に沿って自分たちの手で粉から生地を混ぜる・こねる・伸ばす・あんこを包む…といった作業をしました。あつあつの生地を素早く混ぜる工程が一番難しく苦戦しましたが、楽しみながら取り組まれていました。職員も手伝ったり、写真を撮ったりと大できた方も…でも自分で作ったおたべを食べることができて楽しい思い出ができた様子。普段の作業では見られない表情や、楽しそうな姿を見ることができました。

年に2回の日帰りレクリエーションを楽しみにしている利用者の方は多く「レク楽しみです」と言ってくださったり、終わった後にも「おたべ体験楽しかったです。」と笑顔で言ってくれる方が多く、嬉しく思っています。レクリエーションは利用者の方にとって楽しむことはもちろん、経験や学習の場でもあることを改めて感じます。有意義な体験を提供できるようにレクをこれからも考えていきます。

遠出コースも実行委員の利用者さんとただいま検討中…楽しみにしててください。(岡田&長濱)



# 販売会のご報告 ~いつも呼んで頂きありがとうございます！！



## ●伏見ふれあいプラザ2019●

9月1日(日)にパルスプラザで開催された「伏見ふれあいプラザ2019」に出店させて頂きました。広ーい会場の中にはたくさんの屋台ブースやステージ・エアトランポリンが置かれ、賑やかなイベントでした。お子さんや親子連れのお客さまも多く、楽しんでいる様子を見て私達も嬉しくなりました。

たくさん用意したパンやお菓子を並べると販売開始すぐから多くのお客さまが来てくださり人気のあるパンはすぐに売り切れ、販売時間が終わる前に完売、と大盛況。「がんばってね」「おいしかったよ」といった嬉しい声もたくさん頂くことができました。参加された利用者方も一生懸命仕事に取り組みつつ、順番に会場で買ったお昼ごはんを食べたり、ご家族へのお土産を買ったり・・・とイベントも満喫されていました。「来年はこのパンやお菓子をもっと持ってきて、オススメできるといいなあ」と次回の目標も見つかった様子でした。パンをお買い上げ頂いたお客さまを始め、企画の運営をして頂いた方々、駐車場や会場でご協力頂いたスタッフ様・・・たくさんの方々からお力添えを頂いた販売会でした。本当にありがとうございました。(田鍋)

## ●自閉症協会研修・販売会●

9月7日(土)にひとまち交流館で開催されました、自閉症協会様の研修会場で販売をさせていただきました。研修には約250名の参加者様がおられ、多くのお客様にいたはし学園のパンの購入をしていただくことができ、持参したパンも概ね完売することができました。販売に参加した利用者の方達もあまりの忙しい販売に驚かれていましたが、自閉症協会のスタッフ様にもお手伝いいただいたことで無事に販売を終えることができ、充実した販売を行うことができました。販売に招いて下さり、お手伝いまでしていただきました自閉症協会の皆様、本当にありがとうございました。(太田)



## 施設内学習会を開催しました。

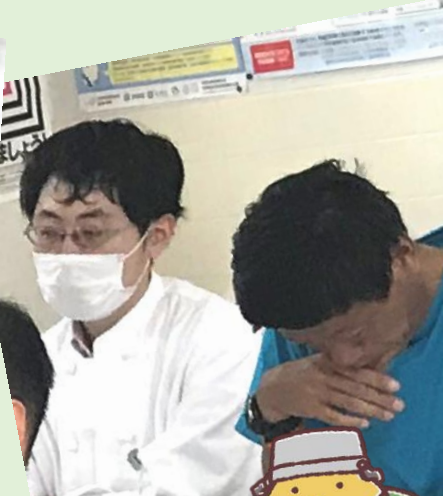
今年の夏はお盆期間を利用していくつかの学習会を開催しました。今回はその中から避難訓練と、接客&販売研修について報告させて頂きます。



### 8月13日(火)★避難訓練★

今回の避難訓練はこれまでとは少しプログラムを変更し、ビデオ学習や座学を多く取り入れました。これまでの避難訓練では実際に地震や火災が起きた時を想定し本番さながらの訓練をしていたのですが、改めて「いざという時に自分で自分を守る」ということについて勉強し理解を深めてもらう必要があるのではないか、という思いがあり実施に至りました。地震や火事が起きた時というイメージだけで動き方を考えるのは難しいことですが、ビデオ鑑賞を取り入れたことで取り組みやすくなったように思いました。途中で意見を出してもらう機会を設けたことで「これまでの逃げ方が合っているのか不安だったけど答えが分かってホッとした」「知らないことや間違っていたことがあってビックリした」と新しいことを知る機会や、確認ができた様子でした。座学の後は実際に作業場に移動して地震の時・火事の時の動き方をそれぞれ確認しながら避難をしました。「たしか靴は履き替えないんだっただよなあ」「これが落ちてくるかもしれないから避けて動こう」など落ち着いて、考えながら動いてみることもできました。

もしもの時に自分のことを守れるのは、まず自分自身なのだということを意識してもらえたのではないかと思います。今回の避難訓練を踏まえて、次は実際の場面に近い形での訓練も企画していきたいです。(田鍋)



### 8月14日(水)

### ★販売&接客マナー研修★

今回のテーマは「販売時の接客マナー」ということで、普段からパン販売に参加していただいている利用者さんを中心に実施致しました。内容は「身だしなみ」「表情」「言葉遣い」「販売時の姿勢」「計算、袋入れの仕方」と、普段行っていた内容を確認していただき、ロールプレイも交えながら学習活動を行いました。利用者さんからは「〇〇な服装はダメだと思う」や「こうした方が良い」という意見がたくさんあり、有意義な学習活動を実施することができました。

学習活動を終え、販売の服装を今まで以上に意識する方やお釣りの渡し方が丁寧になられた方が増えられたため、今後も継続して学習活動を行い、スキルアップしていただけるよう支援をしていきたいと思っております。(太田)



## 京都セルフ協 施設見学会に参加しました。

8月23日(金)京都セルフ協施設見学会に参加し、福井県にある「社会福祉法人 北日野こもれび会 ぴーぷるファン」に行かせて頂きました。福井県はB型の平均工賃が日本一高い県で、その中でも「ぴーぷるファン」様は生活介護の方にも5万円以上の工賃を渡されており、B型の方は7万円以上の工賃を貰われています。実際の現場では、作業の種類が多く、利用者の方々が機械のオペレーターとなって活躍されていたことが印象的でした。巧緻性を求められる作業でも、機械化することで障がいの重い方も作業に出来るという発想で、生産効率を上げる工夫をされていました。フィルム加工や縫製、座椅子の製造の他、お弁当や製菓などの自主製品にも力を入れておられ、今後さらに展開を広げていく予定と伺いました。事業所として平均工賃や売り上げを上げることは、実際やってみると簡単ではありません。しかし、努力や創意工夫、発想の転換で良い方向に向かうのは可能だと思います。他府県の取り組みを見て大変勉強になりました。(河村)

